

編集後記

会誌第一一五号をやっとお届けする運びとなりました。

巻頭論文は本会の会長渡辺澄夫博士の論文で飾らせていただきました。同論文は博士の「二豊荘園の研究」の一をなすもので、玖珠郡内の寺領荘園の成立と、その小荘園を内包した郡荘の成立と解体について論究されたものです。橋本氏の論文は大神系緒方氏の流れをくむ佐伯氏十二代惟教の大友氏への帰参という、豊後土着有力武士の動向を論じたものです。佐藤氏の論文は幕末における西国筋郡代と長崎代官の兵賦・農兵問題への対応を論じたもので、本誌一一一号所収論文と関連したものです。また秦氏の史料紹介は、従来ほとんど知られていなかった府内藩の宝永強訴と、宗寿寺村の村方騒動の史料を紹介されたもので、百姓一揆研究に新たな一頁を加えるものとして注目されます。溝渕氏の研究ノートは本誌一〇五号に続く江戸時代の宿場一ツ戸研究の第二弾で、興味深いものがあります。会員各位のこのような研究ノート欄への投稿もお願いします。

(佐藤)

昭和五十九年十月二十日 印刷
昭和五十九年十月三十日 発行

大分県地方史 第一一五号

編集者 佐藤 満洋

発行者 渡辺 澄夫

印刷者 中尾 寿孝

別府市中央町九一五

印刷所 日の丸印刷株式会社

(電話) ②〇三四一

発行所

〒八七〇一一 大分市旦ノ原七〇〇

大分大学教育学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・下関八一五二九四番)